219

295Kのとき、レールの長さは、

 $\Delta l = al\Delta T \ \, \text{LD},$

(線膨張の式)

 $a=1.2\times 10^{-5}K^{-1}$, l=30m , $\Delta T=15K$

を代入して、

 $\Delta l = 1.2 \times 10^{-5} \cdot 30 \cdot 15 = 5.4 \times 10^{-3} \ m$

320Kのとき、レールの長さは、

 $\Delta l = al\Delta T \ \, \text{LD}$

(線膨張の式)

 $a=1.2\times 10^{-5}K^{-1}$, l=30m , $\Delta T=40K$

を代入して、

 $\Delta l = 1.2 \times 10^{-5} \cdot 30 \cdot 40 = 1.44 \times 10^{-2} \, m$

上記より、レールを敷いてから線膨張する最大の増加量41'は、

$$\Delta l' = 1.44 \times 10^{-2} - 5.4 \times 10^{-3}$$

= $9.0 \times 10^{-3} m$

よって、つなぎ目の間隔は、 $9.0 \times 10^{-3} m$ にしたらよい。